

令和元年度 新川北保育園 自己評価チェックシート 集計表

対象人数 19名 (パート4名含む)

このチェックシートは、日頃保育に関わっている者が、自分の保育を確認し、気づき問い直すきっかけを作るものです。

チェックリストに回答し、その後自分自身で課題をまとめてください。

評価の判断基準は、自分です。判断に迷った時は、なぜ迷ったのか考察してください。

「努力が必要」の数がかかなり占めたとしても、このことが保育士の保育を全面的に否定するものではありません。

自分の保育を客観的に見て改善すること、職員の共通理解を得ることが目的です。

【評価方法】 A. 十分理解している(十分できている) B. 理解している(できている) C. 努力が必要

I. 子どもの発達

①子どもの発達過程のおおむね8つの区分を理解し、一人一人の発達に合わせ援助していくことの重要性を理解している。

A	B	C	無回答
4	15	0	0

②発達過程に「おおむね」がつくことで、個人の発達には幅があり、前後の年齢につながりを持って成長していることを理解している。

7	12	0	0
---	----	---	---

③家庭環境の差・身体能力の差・精神的成長の差から生じる、子ども一人一人の違いを理解している。

9	10	0	0
---	----	---	---

④一人一人とコミュニケーションを取り、信頼関係を築いている。

9	8	2	0
---	---	---	---

⑤自分を表現する力が十分でない子供の気持ちをくみ取るようにしている。

8	8	3	0
---	---	---	---

⑥禁止語を不必要に用いないようにしている。

5	7	7	0
---	---	---	---

⑦登園時に泣く子供に対して、子どもの状況に応じて優しく声をかけたり、抱きしめたりしている。

12	7	0	0
----	---	---	---

⑧日々の生活の中で、子どもが安心感と自己肯定感を持てるような言葉がけをしている。

6	11	2	0
---	----	---	---

⑨子どもの心身の癒しがなされるように配慮されている。

6	13	0	0
---	----	---	---

II. 保育の内容

①一人一人の健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができる。

3	15	1	0
---	----	---	---

②個人と集団で行う活動の違いを熟知し、人間関係を築ける機会を作っている。

4	14	0	1
---	----	---	---

③子どもたちの個性、特性を十分に理解するとともに自ら発言できる機会をつくっている。

6	10	2	1
---	----	---	---

④子どもたちに相手の言葉に耳を傾け、意見を尊重できるよう指導ができる。

5	10	4	0
---	----	---	---

⑤人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切にする気持ちを養う保育ができる。

5	12	2	0
---	----	---	---

⑥大きな自然、小さな自然、あるいは街中の様子などから、まず保育士自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしている。

5	12	2	0
---	----	---	---

⑦子供の知的要求の変化に気づき、探究心、知的好奇心を満たしたり、引き出したりするような会話や配慮をしている。

3	14	2	0
---	----	---	---

⑧保育士自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するように心がけ、人の話を聞く態度を身に付けさせることができる。

2	11	6	0
---	----	---	---

⑨子どもが自分の話を十分聞いてもらった、伝わったという楽しさや満足感をもてるように配慮している。

6	12	1	0
---	----	---	---

⑩基本的な生活習慣に基づいたあいさつなど、日常生活に必要な言葉を丁寧に使うことができる。

A	B	C	無回答
14	4	1	0

⑪子ども達の興味や関心に沿った絵本や物語を用意できる。

6	9	1	3
2	10	4	3
2	11	3	3

⑫探究心を満足させ、観察力を育てる保育の環境設定に配慮している。

⑬日々の保育の中で感動や発見が出来るよう、変化に富む保育内容に配慮している。

Ⅲ. 保育の計画及び評価

①保育課程に基づいた具体的な指導計画を作成できる。

2	13	0	4
3	11	1	4

②各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり個々の発達にも留意したものを作成できる。

6	9	2	2
---	---	---	---

③保育士は、自らの保育実践をふり振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならないことを理解している。

Ⅳ. 健康及び安全

①子どもの感染症やその他の疾病についての知識を持ち、必要な援助ができる。

2	11	6	0
4	10	5	0
4	11	4	0
3	11	5	

②基本的なアレルギーの種類(食物・接触・薬)や特質について理解している。

③無理なく好き嫌いをなくす援助が出来る。

④食べる事の意味や命について考える機会を作っている。

(人の命、動物の命、植物の命)

⑤食事のマナーを子どもや保護者に伝えられる。

5	10	3	1
---	----	---	---

Ⅴ. 保護者に対する支援

①日々信頼を得られる行動をしている。

4	13	0	2
4	9	4	2
3	10	2	4
1	11	3	4

②保護者の思いを受け止め、様々な思いの相談・依頼に適切に対応している。

③保護者の話を落ち着いて聴き、状況、問題点を把握できる。

④手紙、公文書などの基本的な書き方を知り、誤字・脱字のない内容が正確に伝わる文章が書ける。

5	9	1	4
---	---	---	---

⑤早番や遅番で保護者からの伝達事項があるときは、メモを取り、確実に担任に伝えている。

⑥職員会議等で各クラスの状況報告を聞き、担任ではなくても各クラスの様子を把握している。

4	9	1	5
---	---	---	---

⑦保護者、入所児童、また職場に関しての秘密は絶対に他言しない。

15	3	0	1
----	---	---	---

Ⅵ. 職員の資質向上

①保護者、来客に対して季節・時間に合わせた好感の持てる挨拶が出来る。

8	10	1	0
4	13	2	0
7	9	0	3

②正しい言葉使いが出来る。

③電話が鳴ったら早く出るようにしている。

- ④電話の要件は間違いが無いようメモに残し、確認や伝達を行なっている。
- ⑤周囲の人や来客に清潔感を与える応対や身だしなみを実践している。
- ⑥いつも笑顔で応対できる。
- ⑦子どもの発達段階を意識し、活動的で子どもが心地よく感じる服装を心掛けている。
- ⑧髪が顔にかかったり爪が伸びたりなど、不衛生にならないよう日頃から心掛けている。
- ⑨睡眠を十分にとり、勤務に支障をきたさない規則正しい生活を送っている。
- ⑩朝昼夜3度の食事をきちんととっている。
- ⑪体調不良の時は、速やかに通院している。
- ⑫日常生活で保育士としての度を越す言動をとらない。
- ⑬セクシャルハラスメントや虐待など保育士にあるまじきことをしない。
- ⑭保育園および職員の不満を他言しない。
- ⑮保育士としての生活、行事をこなし、毎日楽しく勤務している。
- ⑯勤務開始時間の10分以上前に出勤している。
- ⑰指導計画をもとに、日々の乳幼児の状況に沿った保育をしている。
- ⑱毎朝行事予定表・日案に目を通し確認、記憶している。
- ⑲翌日の欠勤者、出張者を確認できる。
- ⑳自ら進んで勤務を完全遂行する、積極的な姿勢がある。
- ㉑担当業務以外でも自ら気づき、声を掛けあい協力している。
- ㉒会議等で積極的に発言できる。
- ㉓「みんながやっているから」「以前からの慣例だから」という思いにとらわれない。
- ㉔自分だけの不都合かどうか、客観的に見る事が出来る。
- ㉕考えたこと、思いついたことを上司に相談できる。
- ㉖自分の施設の長所・短所を正しく理解し改善できる。
- ㉗人間としての資質を磨くように努力する意欲がある。
- ㉘保育士としての基本である研修に取り組む意欲を持っている。
- ㉙苦手な分野の情報や研修を知ろうとする意欲がある。
- ㉚保育行政や他施設の保育内容に関心がある。
- ㉛保育に関する情報誌、専門書またはインターネットなどの外部情報を取り入れている。
- ㉜研修報告などで気づいたことを自分の業務に反映できる。
- ㉝他人の意見に耳を傾け「聴く」ということができる。
- ㉞相手がどのような思いで意見を発し、行動を取ったか考える事が出来る。
- ㉟様々な職業の保護者の立場を理解し、一律に保護者の避難をしない。
- ㊱長時間保育の保護者に、ねぎらいの言葉をかけている。

A	B	C	無回答
8	8	0	3
8	10	1	0
10	9	0	0
9	10	0	0

10	9	0	0
----	---	---	---

10	9	0	0
14	4	1	0
12	7	0	0
11	8	0	0
18	1	0	0
11	8	0	0
10	8	1	0
8	10	1	0
6	12	1	0
3	15	1	0
5	11	3	0
6	8	5	0
3	10	5	1
2	9	5	3
6	13	0	0
1	18	0	0
4	11	4	0
2	13	4	0
5	11	3	0
4	11	3	1
4	13	2	0
4	13	2	0
2	13	4	0
3	13	2	1
8	11	0	0
4	15	0	0
8	10	1	0
6	9	2	2

新川北保育園 総合評価

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当保育園の保育の内容について自ら評価を行いその結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づき、検討し、保育園としての自己評価について評価の項目・評価結果の示し方等について、標準的な様式として作成しました。自己評価シートに関しては、職員一人一人が評価し、全体でどのような評価結果なのかを集計し、職員で結果に伴い把握しています。

当保育園は、保育士自ら、保育士としての評価を行い、また園として今後につながるよう評価の結果に基づき改善していくよう取り組み保育の質の向上を図っていきます。